

防災分野

研究領域

「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

採択年度	2024年	研究期間	5年間
研究課題名	沿岸域の持続的な保全、防災、生活改善を実現する総合土砂および環境管理手法の構築	貢献 する 主な SDGs	  
研究代表機関	東京大学 大学院工学系研究科		
相手国	ガーナ共和国	主要相手国 研究機関	ケープ・コースト大学沿岸域管理センター
研究課題の概要			
本研究は、西アフリカ沿岸域で深刻化する海岸侵食とそれによる浸水災害の長期的な増大、環境劣化、生活困窮を軽減し、防災と環境保全、生活改善の好循環を実現する持続的・国際的な総合土砂管理や沿岸環境管理対策を推進する。具体的には、（１）陸域からの土砂供給を含めた海岸での土砂収支や、それによる海岸地形、浸水ハザード、環境の変化、都市化の進展などをモニタリングするシステムを構築する。（２）気候変動の影響やさまざまな対策の効果を含めた防災・減災や環境保全、生活改善を再現・予測するモデルを整備し、これらを組み合わせたデータ統合・解析システムを構築する。（３）システムを実装してケーススタディーを行い、システムの持続的運用を実現するためのトレーニングプログラムも構築する。以上の成果により、ガーナでの政策や西アフリカ沿岸を対象にした国際的な沿岸管理プログラムなどでの対策の提案・実施に貢献する。			